

1 学校給食の概要

○学校給食実施状況等調査結果（平成28年5月1日現在）

（1）給食形態別実施状況

県内の公立学校で学校給食を受けている児童・生徒数は約17万人であり、平成27年度に比べて約1.8%の減です。

区 分	児童・生徒数(人)	完全給食(人)	補食給食(人)	ミルク給食(人)
小 学 校	109,629	109,489		
	(112,080)	(111,885)		
中 学 校	58,089	57,533		469
	(59,273)	(58,700)		(399)
義 務 教 育 学 校	579	576		
小 計	168,297	167,598		469
	(171,353)	(170,585)		(399)
特 別 支 援 学 校	2,514	2,047		16
	(2,381)	(2,070)		(27)
夜間定時制高等学校	831	266	92	
	(914)	(415)	(104)	
計	171,642	169,911	92	485
	(174,648)	(173,070)	(104)	(426)

（ ）内は、平成27年度（平成27年5月1日現在）の数値です。（以下すべての表に共通します。）

（2）調理方式別実施状況

公立小・中学校（義務教育学校含む、以下同じ）における調理方式別実施状況は、学校数の比率で見ると、単独校調理場方式が34.0%、共同調理場方式が66.0%となっています。

区 分	単独校調理場方式		共同調理場方式		
	学校数(校)	比率 (%)	調理場数	学校数(校)	比率 (%)
平成28年度	186	34.0	76	361	66.0
(参考)平成27年度	187	33.9	77	365	66.1

(3) 米飯給食実施状況

完全給食を実施している公立小・中学校においては、すべての児童・生徒が米飯給食を受けています。

また、週当たりの平均実施回数は3.45回です。

区 分		平成28年度	(参考)平成27年度
実 施 率	学 校 数	100.0%	100.0%
	児 童 ・ 生 徒 数	100.0%	100.0%
週当たり 平均実施回数		3.45回	3.46回

(4) 学校給食費

保護者が負担する学校給食費（パン、米飯、牛乳、副食等の食材料費等）の平均月額額は、平成27年度に比べて小学校低学年で0.5%、小学校中学年・高学年・中学校で0.4%の減額、夜間定時制高等学校で8.2%の減額となっています。

区 分		平成28年度			(参考)平成27年度	
		給食回数	給食費月額	対前年度増減率	給食回数	給食費月額
小 学 校	低学年	202回	4,960円	△0.5%	203回	4,983円
	中学年	202回	5,022円	△0.3%	203回	5,039円
	高学年	202回	5,087円	△0.3%	203回	5,104円
中 学 校		199回	5,796円	△0.3%	201回	5,812円
夜間定時制高等学校		180回	4,537円	△8.2%	177回	4,941円

(5) 栄養教諭・学校栄養職員配置状況

公立小・中学校（共同調理場含む）、特別支援学校、教育委員会の栄養教諭・学校栄養職員常勤数は297人で、平成27年度に比べて8人増加となっています。

なお、栄養教諭は117人で、2人減少となっています。

区 分	栄養教諭 (常勤)	学校栄養職員（常勤）			計
		公立小中	特別支援	教育委員会	
平成28年度	117人	157人	12人	11人	297人
(参考)平成27年度	119人	154人	12人	4人	289人

(6) 学校給食調理員配置状況

公立小・中学校（共同調理場含む）の学校給食調理員数（派遣職員含む）は、1,759人であり、平成27年度に比べて24人減少となっています。

また、学校給食調理員のうち、非常勤職員の比率は約34.4%となっており、平成27年度に比べ6.5%減少となっています。

区 分	常 勤		非 常 勤		計
	職 員 数	比 率	職 員 数	比 率	
平成28年度	1,154人	65.6%	605人	34.4%	1,759人(368人)
(参考)平成27年度	1,053人	59.1%	730人	40.9%	1,783人(360人)

() 内は派遣職員数で内数です。

(7) 学校給食用食器の使用状況

公立小・中学校の使用食器を材質別に見ると、ポリエチレンナフタレートが約56.3%と一番多く、次いでポリプロピレン、強化磁器となっています。（重複回答あり）

区 分	ポリエチレン ナフタレート	ポリプロピレン	強化磁器	耐熱ABS 樹脂	メラミン
平成28年度	340校(62.2%)	229校(41.9%)	75校(13.7%)	58校(10.6%)	42校(7.7%)
(参考)平成27年度	311校(56.3%)	224校(40.6%)	77校(13.9%)	48校(8.7%)	40校(7.2%)
区 分	シクロレフィン ポリマー	アクリル	アルマイト	漆 器	ポリカーボネート
平成28年度	15校(2.7%)	8校(1.5%)	7校(1.3%)	7校(1.3%)	6校(1.1%)
(参考)平成27年度	24校(4.3%)	26校(4.7%)	6校(1.1%)	2校(0.4%)	40校(7.2%)